

2 地理歴史

| | | | | | | | |
|-------|--------------------|-----|------|-----|--------|----------|----------------|
| 科目名 | 世界史B | 単位数 | 4 単位 | 学年 | 第 2 学年 | 科 コース | 普通科 進学・一般教養 |
| 使用教科書 | 高校 世界史B (山川出版社) | | | 副教材 | | 教師作成プリント | |

学習の到達目標

1. 世界の歴史の大きな枠組みと展開を諸資料に基づき地理的条件や日本史と関連付けながら理解する。
2. 文化の多様性・複合性と現代世界の特質を広い視野から考察することで、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

学習計画

| | 月 | 単元 | 学習内容及びねらい |
|-------------|----|---|--|
| 一 学 期 | 4 | 第 I 部 第 1 章 オリентと地中海世界 | ※先史の時代、古代文明が出現し、やがて一定の領域を統一した古代帝国が樹立され繁栄した時代を学ぶ ・オリент、西アジア、エジプトの中央集権国家の形成を理解する ・南アジア、中央アジアの海上・陸上交通を活用した通商国家の発達と交易活動を理解する ※5～15世紀のヨーロッパや東・西アジアの歴史を学ぶ ・イスラム世界とキリスト教を基盤としたヨーロッパ世界の形成を理解する |
| | 5 | 第 2 章 アジア・アフリカの古代文明 第 3 章 内陸アジア世界・東アジアの形成 | |
| | 6 | 第 II 部 第 4 章 イスラム世界の形成と発展 | |
| | 7 | 第 5 章 ヨーロッパ世界の形成と発展 | |
| 二 学 期 | 9 | 第 6 章 内陸アジア世界・東アジア世界の発展 第 III 部 | ・内陸アジアのイスラム教の普及と中国の統一政権（宋）の誕生とユーラシア大陸全体の交易体制を理解する ※16～19世紀のアジアの帝国の繁栄の時代とヨーロッパ諸国の海外進出など地球規模に拡大した交流を学ぶ ・ヨーロッパ諸国の主権国家体制の確立について理解する ・産業革命、アメリカの独立、フランス革命などヨーロッパの社会のしくみや文化の変化を理解する ・アジアの動揺と改革、ヨーロッパ優位の世界構造を理解する |
| | 10 | 第 7 章 アジア諸地域の繁栄 | |
| | 11 | 第 8 章 近世ヨーロッパ世界の形成 第 9 章 近世ヨーロッパ世界の展開 | |
| | 12 | 第 10 章 近代ヨーロッパ・アメリカ世界の成立 第 11 章 欧米における近代国民国家発展 第 12 章 アジア諸地域の動揺 | |
| | 1 | 第 IV 部 第 13 章 帝国主義とアジアの民族運動 | |
| 三 学 期 | 2 | 第 14 章 二つの世界大戦 第 15 章 冷戦と第三世界の独立 | ※19世紀の帝国主義時代から21世紀の現在を含む、現代の歴史を学ぶ ・アジア、アフリカ地域の欧米列強の植民地化の状況を理解する ・2度の世界大戦の状況を理解する ・アメリカとソ連を中心とする冷戦の影響を理解する ・環境、人権問題など地球的課題とグローバル化について理解する |
| | 3 | 第 16 章 現在の世界 | |

学習評価

1. 定期試験・小テスト・課題の提出状況・授業態度などを総合的に評価する。